

2月9日(金)

「長崎大学教育学部附属小学校 教育研究発表会」

に行ってきました！

令和6年2月9日(金)、長崎大学教育学部附属小学校 研究発表会に行かせていただきました。研究テーマは、「幸せを掴む子どもの育成」。私がこの研究発表会で学んだこと、感じたことをこの場で共有できればと思います。(3月になって、ついに私も☆Cha! Cha! Cha!☆デビューです。笑)

この日は、午前中に3つの授業を参観しました。参観した授業は、6年生国語科「海の命」、1年生体育科「表現遊び」、そして5・6年生複式国語科「大造じいさんとガン&海の命」です。午後は国語科の協議会に参加しました。そのため、ここでは国語科のことについて書きたいと思います。

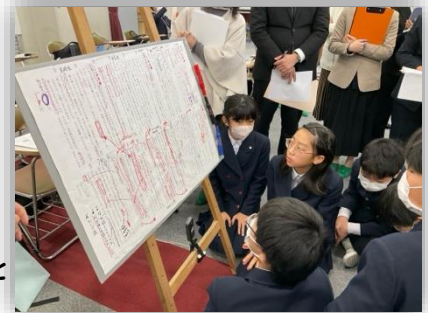
国語科 研究テーマ

「物語を読む楽しみを見いだす子どもの育成」

初めに参観した6年生「海の命」の授業は、写真のように、追求したいテーマごとに教室のあちこちに集まり、それぞれの解釈を交流し合うというものでした。解釈を交流するというので、

- ① 他者に説明するために文章を何度も読み直すことで、見逃していた言葉と言葉の結び付きに気付くことができる。
- ② 一人一人の解釈の共通点や差異点が明らかになり、それがどこからくるのかを探るための拠り所として文章・言葉に着目するようになる。
- ③ 同じ言葉に着目しても人によって異なる解釈ができることに気付いたり、これまでになかった解釈を生み出したりできる。

以上のことを狙っているそうです。



児童の読みを助ける「読みの道具箱」

長崎大学教育学部附属小学校では、児童が物語の解釈をするための手立てとして、「読みの道具箱」というものを使用されているそうです。左のQRコードを読み取ると、内容を確認することができます。これを用いることで物語を読むときの着眼点をはっきりし、分かりやすいと思いました。現在は「物語 ver.」のみですが「説明文 ver.」の作成もされているそうです。

「楽しいから始まる学び」

クイズ王

～株式会社 Quiz CEO 伊沢拓司さんの講演会から～

先生方の「学ぶことが苦にならない場面」ってどんな場面ですか？ やっぱり「好きなことについて学んでいるとき」ですよ。そのときは、「学んでいる」という意識をもっていないのではないのでしょうか。子どもでいうと、好きなアニメやゲーム、アイドルについての知識を得ているときなどでしょうか。私でいうと、世の中の便利なガジェットに関する You tube 動画を観ているときかなあ…。自然と知識が吸収されていくんですね。一方、学校での勉強は「楽しくない」と感じる子どもが多い。それはなぜかと言うと、「難しい」「面倒くさい」「将来使わなさそう」という理由が挙げられるようです。では、どうしたら学校の勉強が楽しくなるのか。伊沢さんはこうおっしゃっていましたよ。

- ① 知識を得ること自体を楽しむこと…「将来絶対使わないじゃん」ではなく、知識を増やす喜びを感じるように考え方を変える(変えてもらう)
- ② 成長する自分を楽しむこと…自分よりできる他人と比べて落ち込むのではなく、昨日までできなかった自分と比べて、その成長を楽しむようにする